

## 令和6年度 Will Project II 講演会のご案内

- 1 目的 21世紀の第一四半世紀を目前に、人類及び地球環境が直面する様々な課題解決にとって、科学や学問研究の果たす役割は益々重要であり、より良い未来を望むには、文理の別を越えた総合的な知を探究するとともに、誰もが真理追求の精神を備えて学び続ける必要があることを理解するため。また、本校の教育活動を通じた地域・社会貢献として、本講座の聴講機会を本校保護者及び能代市民に広く提供する。

- 2 日時 令和6年7月11日(木)  
13:00~14:50

- 3 場所 本校体育館

- 4 講師 大学共同利用機構法人  
人間文化研究機関  
総合地球環境学研究所  
所長 山極 壽一 氏



経歴：1952年東京都生まれ。京都大学理学部卒、同大学院理学研究科博士後期課程単位取得退学。理学博士。京都大学霊長類研究所助手、京都大学大学院理学研究科助教授、同教授、同研究科長・理学部長を経て2020年まで第26代京都大学総長。人類進化論専攻。日本霊長類学会会長、国際霊長類学会会長、日本学会会議会長を歴任。現在、総合地球環境学研究所所長。南方熊楠賞、アカデミア賞受賞。

著書：『人生で大事なことはみんなゴリラから教わった』（2020年、家の光協会）、『スマホを捨てたい子どもたち—野生に学ぶ「未知の時代」の生き方』（2020年、ポプラ新書）、『京大というジャングルでゴリラ学者が考えたこと』（2021年、朝日新書）、『猿声人語』（2022年、青土社）、『動物たちは何をしゃべっているのか？』（2023年共著、集英社）、『共感革命—社交する人類の進化と未来』（2023年、河出新書）など多数。

- 5 演題 「人類にとって学びとは何か—豊かな未来へ向けて—」

- 6 司会者 Will Project II 委員会委員長 須藤健吉

- 7 対象者 全校生徒・保護者・能代市民

- 8 次第 講演者紹介（3分） 校長 平川 研  
講演（80分） 総合地球環境学研究所所長 山極壽一 氏  
休憩（10分）  
質疑応答（15分） 3名以内（各学年1名）  
お礼の言葉（2分） 生徒会長 秋山煌惺

令和6年度「アースデイ能代」活動報告・講評会のご案内

- 1 目 的 令和3年度実施の山極壽一先生のNWP講座を機に地球環境問題への理解を深めた生徒達が始めた「アースデイ能代」の活動が、今年度で3年目になり、新たな活動に挑戦するとともに、能代市内の他高校のほか、男鹿市や大館市への参加も実現するなど、活動の幅や参加地域が広まってきていることから、これまでの取組みの成果について山極先生に報告するとともに、今後の活動の展望について指導・助言を受けるため。また、本講座の実施を告知の上、聴講機会を本校保護者及び能代市民に提供することによって、本校の教育活動を通じた地域貢献とする。
- 2 日 時 令和6年7月11日（木） 15：20～16：20
- 3 場 所 本校会議室
- 4 講 師 大学共同利用機構法人 人間文化研究機関  
総合地球環境学研究所所長 山極壽一氏
- 5 司会者 アースデイ能代実行委員長  
2A 原田わかば
- 6 対象者 職員、保護者・一般市民参加希望者（先着50名）
- 7 次 第 探究活動×SDGs実施報告（10分） 探究活動推進委員長 杉澤斉  
アースデイ能代活動説明（10分） アースデイ能代表 能登裕子氏  
アースデイ能代活動報告（20分） アースデイ能代実行委員生徒  
3B 石井瑤葉（いしいたまは）  
3C 大塚梓（おおつかあずさ）  
3D 川村茉未（かわむらまみ）  
3E 小宅茉莉（おやけまつり）  
講評及び指導・助言 （20分） 総合地球環境学研究所所長  
山極壽一 氏

👉 申込み 右のQRコードからGoogleformにお進みいただき、必要事項をご入力いただくか、担当までお電話ください。

【担当】 秋田県立能代高等学校  
Will Project II委員会 柳谷麻理子  
TEL 0185-54-2230(9:00～16:00)

👉 締 切 令和6年6月28日（金）まで



